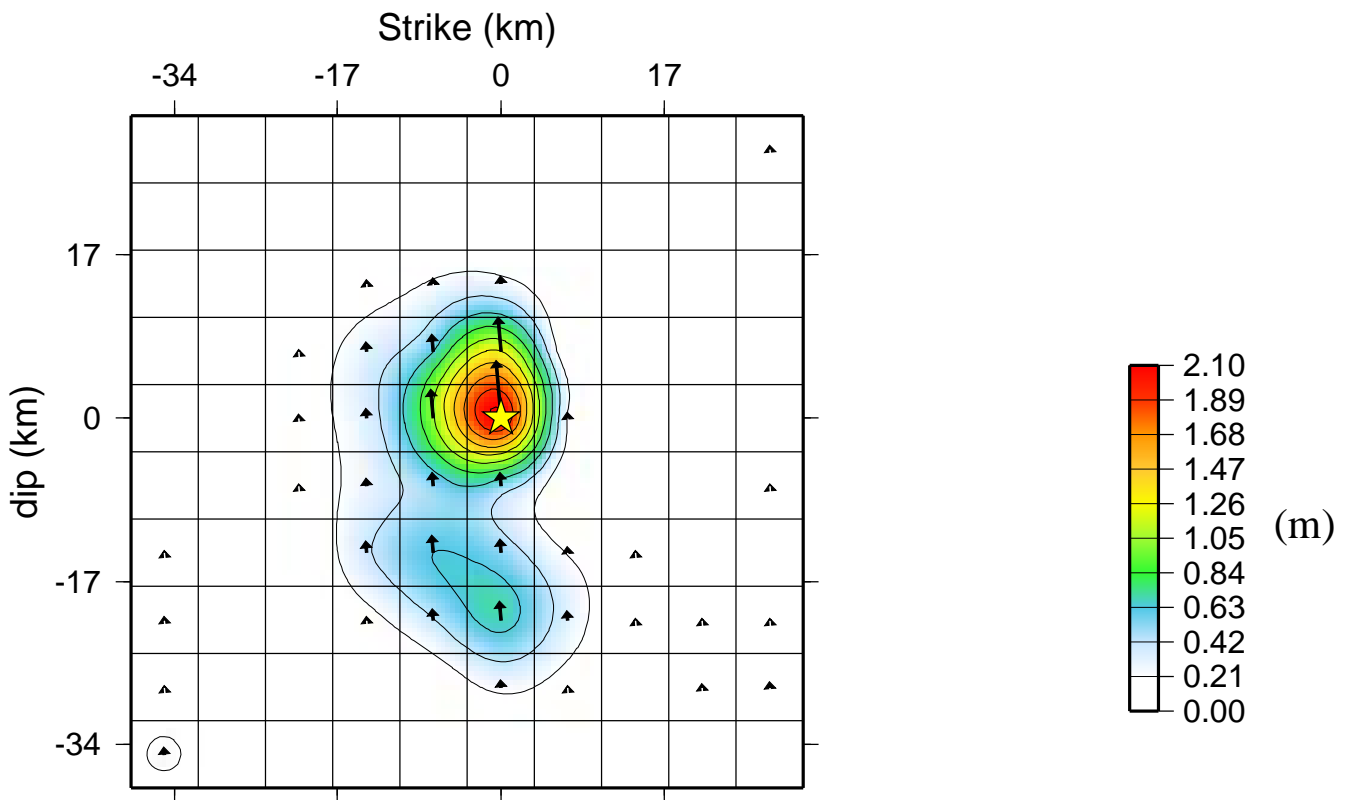
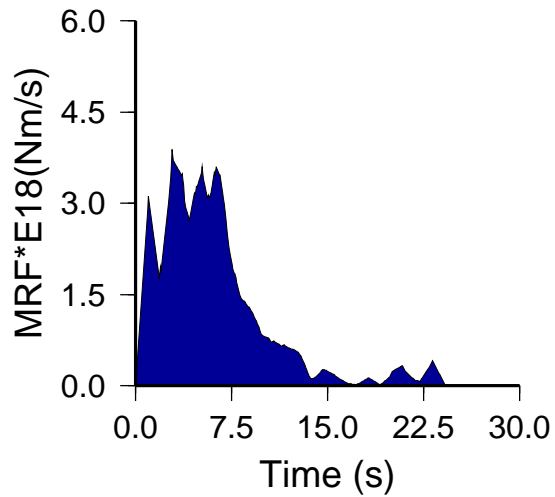
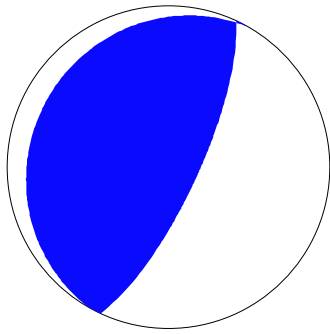
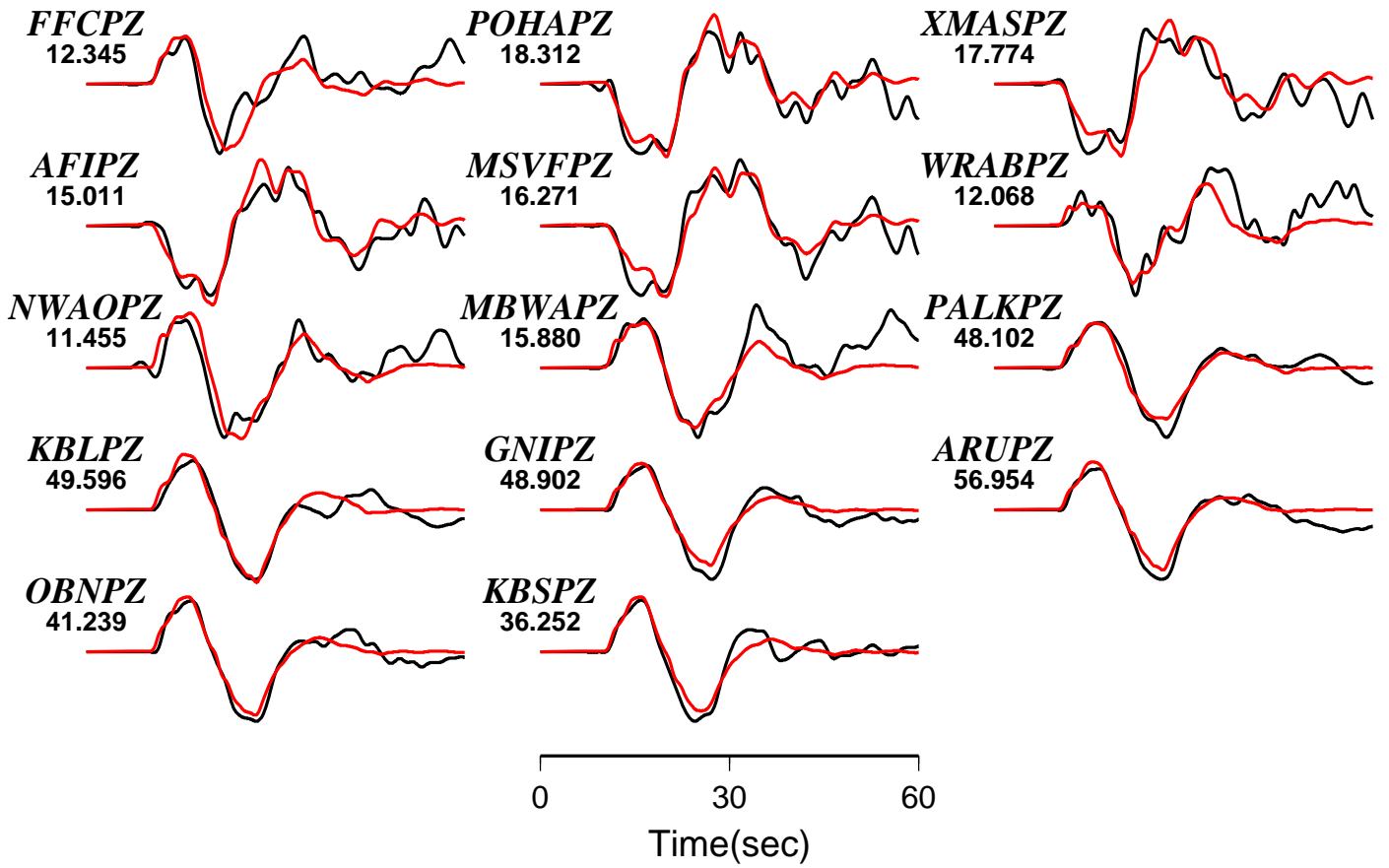


eq080719

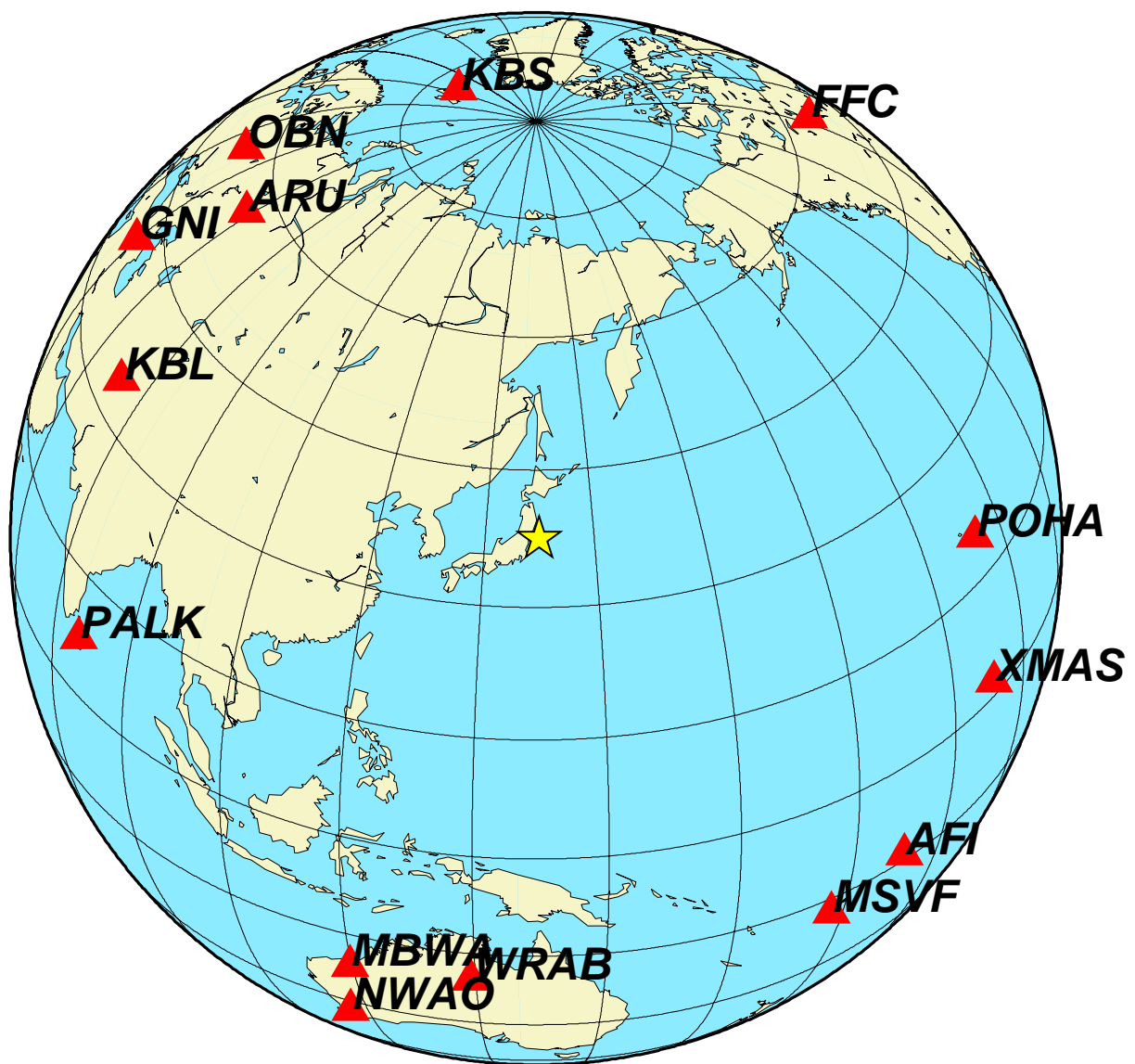
Moment =  $0.2646 \times 10^{20}$  (Nm),  $M_w = 6.9$   
(Strike, Dip, Slip) = (210.0, 15.0, 95.0)



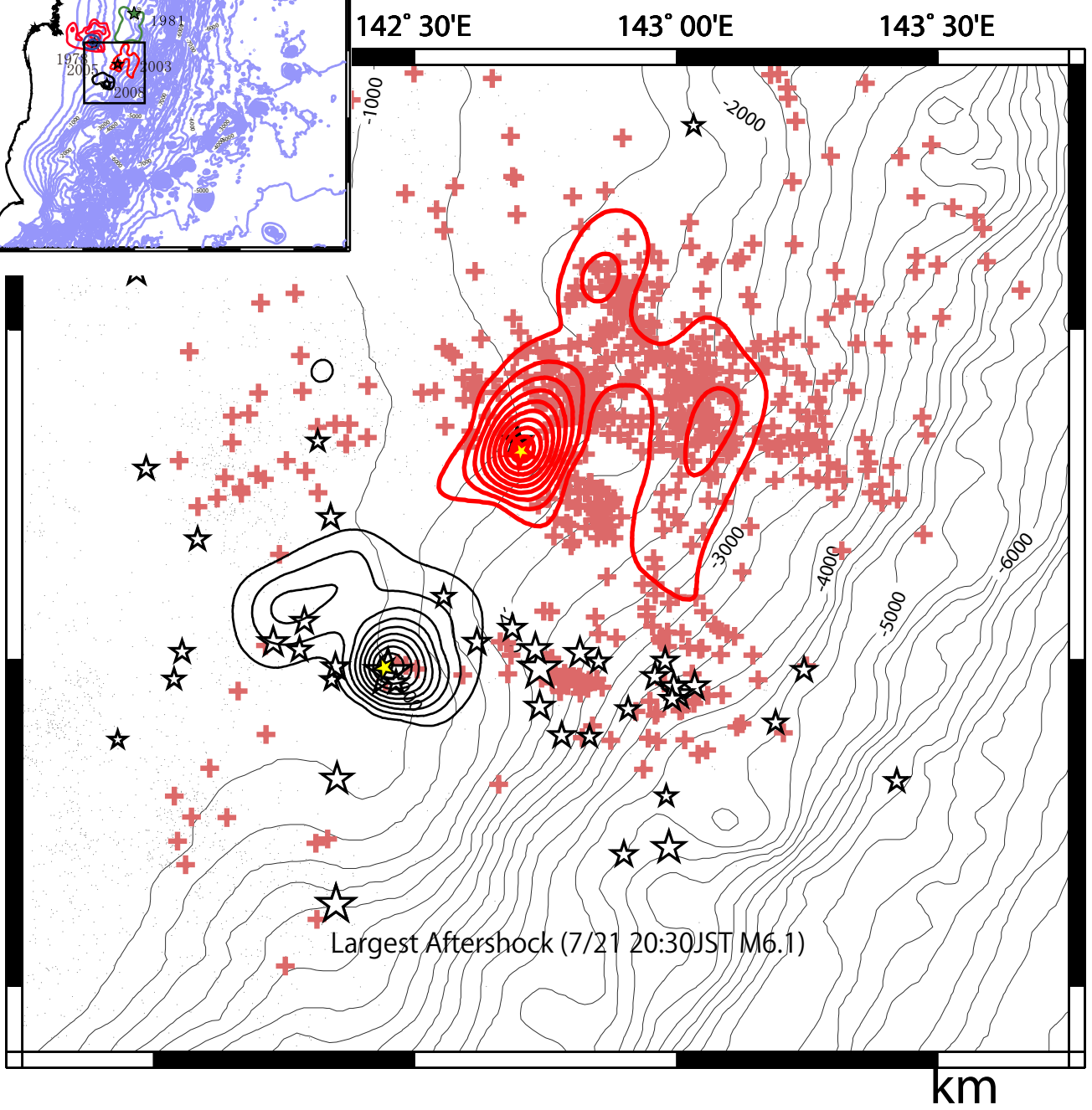
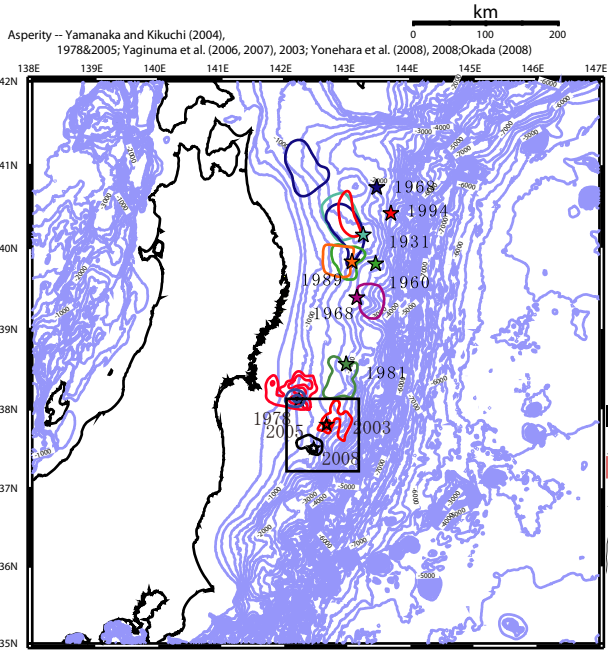
得られた結果. (右上)震源時間関数(左上)メカニズム解 (下)すべりの空間分布



波形の比較 黒:観測波形,赤:理論波形



使用した観測点の分布



赤:2003年 (M6.8): 十字は余震(10/31-11/10)

黒:2008年 (M6.6): ☆は余震(自動処理, ~7/19 23:59 + 7/21最大余震)

点は2001~2008年の地震活動(気象庁一元化震源による)

2008年の地震と2003年10月31日 (M6.8) の地震のすべり分布と余震分布。2003年の地震は米原・他(2008; 連合大会)。背景の線は等深線を示す。右上には、2005年宮城県沖の地震(M7.2); Yaginuma et al. (EPS, 2006), 1978年宮城県沖地震(M7.4); 柳沼・他(2007; 連合大会), その他の地震: Yamanaka & Kikuchi (2004)のすべり量分布をあわせて示す。